

3 離島・へき地医療

【現状と課題】

ア 無医地区・無医島の現状

- 離島・へき地においては、医療供給基盤及び交通基盤の整備の遅れ等により、医療機関の利用が困難な地域があります。
- 無医地区及び準無医地区が合計で41地区、無歯科医地区及び準無歯科医地区が合計で37地区あります。
また、住民が居住する26島のうち15島が無医島となっています。
- 無医地区及び準無医地区は、交通の利便性の向上等により、減少傾向にあります。

【図表5-4-14】 県の無医地区等の状況（平成26年10月現在）

区分	鹿児島	南薩	川薩	出水	始良伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	計
無医地区	1	0	0	1	0	0	0	0	4	6 (12)
うち離島	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4 (4)
準無医地区	11	0	8	2	0	0	2	6	6	35 (36)
うち離島	11	0	8	2	0	0	0	6	6	33 (33)
計	12	0	8	3	0	0	2	6	10	41 (48)
うち離島	11	0	8	2	0	0	0	6	10	37 (37)
無歯科医地区	12	0	0	3	0	1	5	1	10	32 (41)
うち離島	11	0	0	1	0	0	0	1	10	23 (22)
準無歯科医地区	0	0	2	1	0	0	2	0	0	5 (8)
うち離島	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3 (4)
計	12	0	2	4	0	1	7	1	10	37 (49)
うち離島	11	0	2	2	0	0	0	1	10	26 (26)

(注) () 内は平成21年10月時の値

[無医地区等調査及び無歯科医地区等調査（厚生労働省）]

【図表5-4-15】 県の無医地区等の推移

(単位：地区)

		平成11年	平成16年	平成21年	平成26年
無医地区		36	16	12	6
	うち離島	16	4	4	4
準無医地区		22	37	36	35
	うち離島	20	33	33	33
計		58	53	48	41
	うち離島	36	37	37	37
無歯科医地区		51	53	41	32
	うち離島	23	27	22	23
準無歯科医地区		11	9	8	5
	うち離島	5	6	4	3
計		62	62	49	37
	うち離島	28	33	26	26

[無医地区等調査及び無歯科医地区等調査（厚生労働省）]

【図表5-4-16】 無医島の状況（平成29年8月現在）

市町村名	島名
出水市	桂島(8人)
三島村	竹島(87人)・硫黄島(130人)・黒島(190人)
十島村	口之島(159人)・中之島(171人)・平島(71人)
	・諏訪之瀬島(73人)・悪石島(79人)・小宝島(55人)・宝島(148人)
長島町	獅子島(689人)
屋久島町	口永良部島(121人)
瀬戸内町	請島(82人)・与路島(84人)

(注1) () 内は島の人口 [平成27年国勢調査]

(注2) 口永良部島の人口は平成28年12月31日時点

[県地域医療整備課調べ]

イ 医療支援等の状況

- へき地等における地域住民の医療確保のため、へき地診療所や国民健康保険直営診療所が設置されていますが、初期救急医療やプライマリケア（かかりつけ医等による初期診療）を確保するための体制づくり、施設・設備の整備が課題となっています。
- へき地診療所への医師派遣等の支援を行うため、18のへき地医療拠点病院を指定しています。
- 県立病院局に設置したへき地医療支援機構において、へき地診療所等の医師が不在となる際の代診医の派遣調整を行っていますが、派遣要請への対応率は、目標の90%に対し、平成

28年度で87%となっています。

- 鹿児島大学医学部・県医師会などの協力により、専門医のいない離島市町村を対象として、特定診療科（眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科）の巡回診療を行っています。
- 県歯科医師会などの協力により、口永良部島、三島村及び十島村の各島を対象に、歯科の巡回診療を行っています。
- 一部の離島では分娩を取り扱う医療機関がなく、島外で受診、出産をせざるを得ない状況にあり、妊婦健診や出産に係る負担の軽減を図ることが課題となっています。

【図表5-4-17】へき地診療所等の設置数（平成29年4月1日現在）（単位：箇所）

市町村等	へき地診療所	国保直営診療所	計
阿久根市		1 (0)	1 (0)
薩摩川内市		11 (5)	11 (5)
曾於市	1 (0)		1 (0)
南さつま市	3 (2)		3 (2)
西之表市	1 (1)		1 (1)
奄美市		1 (1)	1 (1)
三島村	4 (0)		4 (0)
十島村	7 (0)		7 (0)
長島町	2 (0)		2 (0)
始良市		1 (0)	1 (0)
錦江町	2 (0)		2 (0)
南大隅町	4 (2)		4 (2)
肝付町		1 (1)	1 (1)
屋久島町	3 (2)		3 (2)
大和村	1 (0)	1 (1)	2 (1)
宇検村		1 (1)	1 (1)
瀬戸内町	3 (2)	1 (0)	4 (2)
計	31 (9)	18 (9)	49 (18)

(注1) () 内は常勤医師のいる診療所数（内書き）

(注2) 国民健康保険直営診療所については、第1種・第2種へき地診療所に該当するもののみ（薩摩川内市下甕歯科診療所を含む）

[県地域医療整備課，国保指導室調べ]

【図表5-4-18】へき地医療拠点病院一覧（平成29年8月1日現在）

地区	病院名
北部地区	県立北薩病院, 霧島市立医師会医療センター, 南風病院 相良病院, 済生会川内病院, 出水総合医療センター 出水郡医師会広域医療センター, 青雲会病院
南西地区	県立薩南病院, 鹿児島赤十字病院, 今給黎総合病院 種子島医療センター
大隅地区	県民健康プラザ鹿屋医療センター, 垂水中央病院 曾於医師会立病院, 肝属郡医師会立病院 恒心会おぐら病院
奄美地区	県立大島病院

(注) 下線は各地区協議会の事務局病院

[県地域医療整備課調べ]

【図表5-4-19】代診医派遣対応率の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
依頼日数	30	49	34	20	45
対応日数	25	48	28	17	39
対応率	83%	98%	82%	85%	87%

[県地域医療整備課, 県立病院課調べ]

ウ 医療・医師確保の取組

- 無医地区等の医療の確保のため、へき地診療所を設置していますが、医師不足や地域・診療科目別の医師の偏在により、十分に医師を確保できない診療所や医師が常駐していない診療所があります。
- 離島・へき地の医師の確保対策として、全都道府県の費用負担により運営されている自治医科大学の卒業医師を、一定期間、へき地診療所等に派遣しています。
- 離島・へき地等の医療機関での勤務を志す鹿児島大学の地域枠医学生に対して、修学資金を貸与するなど、将来にわたる離島・へき地の医師確保対策に取り組んでいます。
- 県ドクターヘリは2機体制での運航となり、救急搬送体制の充実が図られたところであるが、更なる救急医療体制の確保・充実のため、円滑かつ効果的な運用に取り組んでいます。

【施策の方向性】

ア 医療の確保

- へき地医療支援機構については、へき地医療拠点病院に対する代診医派遣の要請など、引き続き、離島・へき地における医療の確保を図ります。
- へき地医療拠点病院については、へき地医療支援の実績等を勘案し、実効性のある指定を行います。また、引き続き、へき地診療所、へき地医療拠点病院の運営及び施設・設備の整備を支援します。
- 産科医のいない離島地域については、通院や出産の経費の一部を助成するなど経済的負担の軽減を図ります。また、その他の診療科についても、特定診療科巡回診療を実施するなど、住民のニーズにあわせた医療の確保に努めます。
- 離島・へき地における重症救急患者をヘリコプター等により迅速に搬送するため、搬送機関と受入医療機関との連携強化に努めます。また、医師不足の場合の対応策などについて、各地域における関係機関による協議・検討を行います。

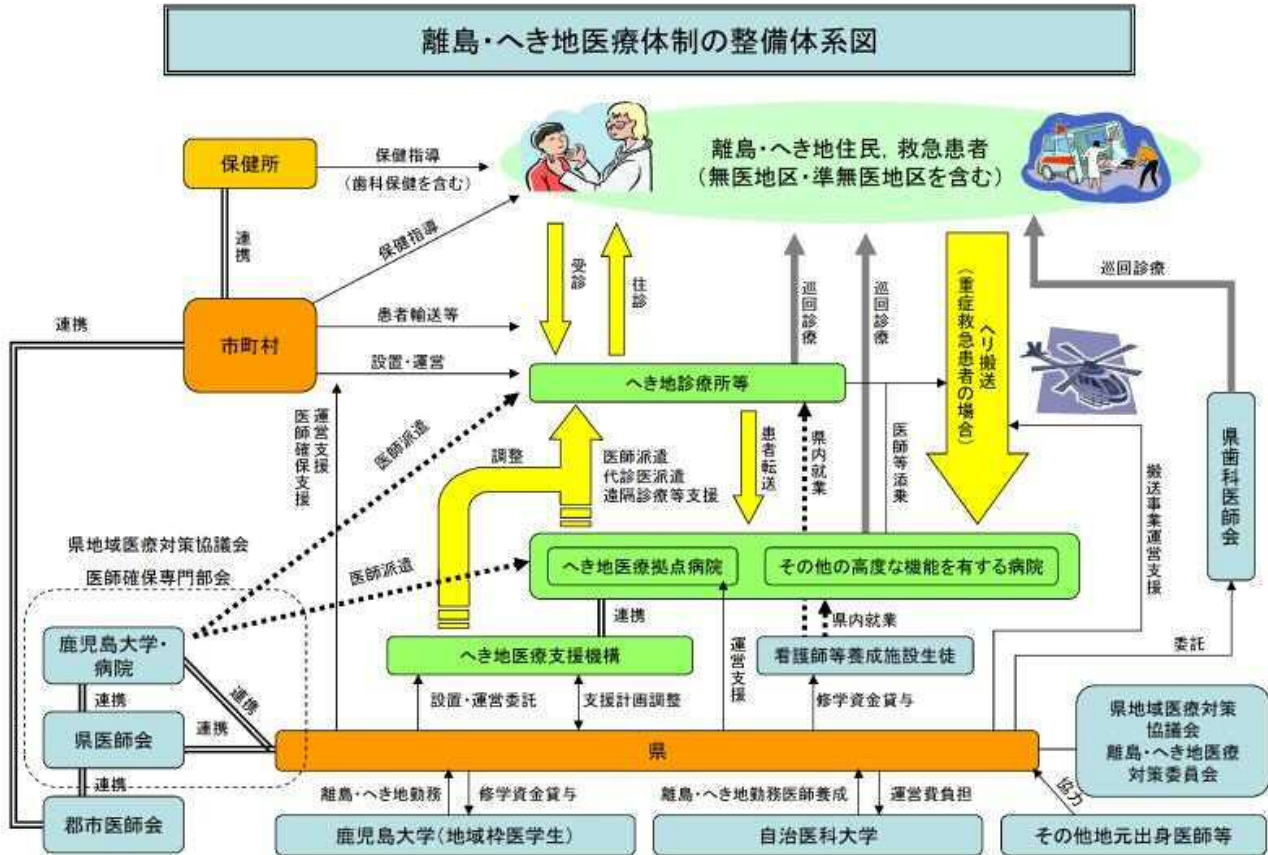
イ 医療従事者の確保

- 医師の確保については、自治医科大学卒業医師の活用、医師修学資金の貸与、ドクターバンクかごしまの運用、臨床研修医の確保など、総合的な医師確保対策に取り組みます。
- 鹿児島大学の地域枠医学生及び自治医大医学生に対しては、離島実習等による卒前教育に努めるとともに、将来にわたって県内の地域医療に安心して従事できるよう、キャリア形成支援等に取り組みます。
- 離島・へき地医療に求められる総合医を養成するため、へき地医療拠点病院等の人材育成機能の強化を図ります。
- 離島・へき地の医療機関に勤務する看護師等のスキルアップの機会を十分に確保するために、県で主催する研修等への参加を促すなど、支援体制の整備を進めます。

ウ 離島・へき地医療の普及・啓発

- 離島・へき地医療の現状や支援体制等について、県ホームページ等を活用して、医療従事者をはじめ広く県民に周知し、離島・へき地医療に関する理解を深めます。

【5-4-20】 離島・へき地医療連携体制



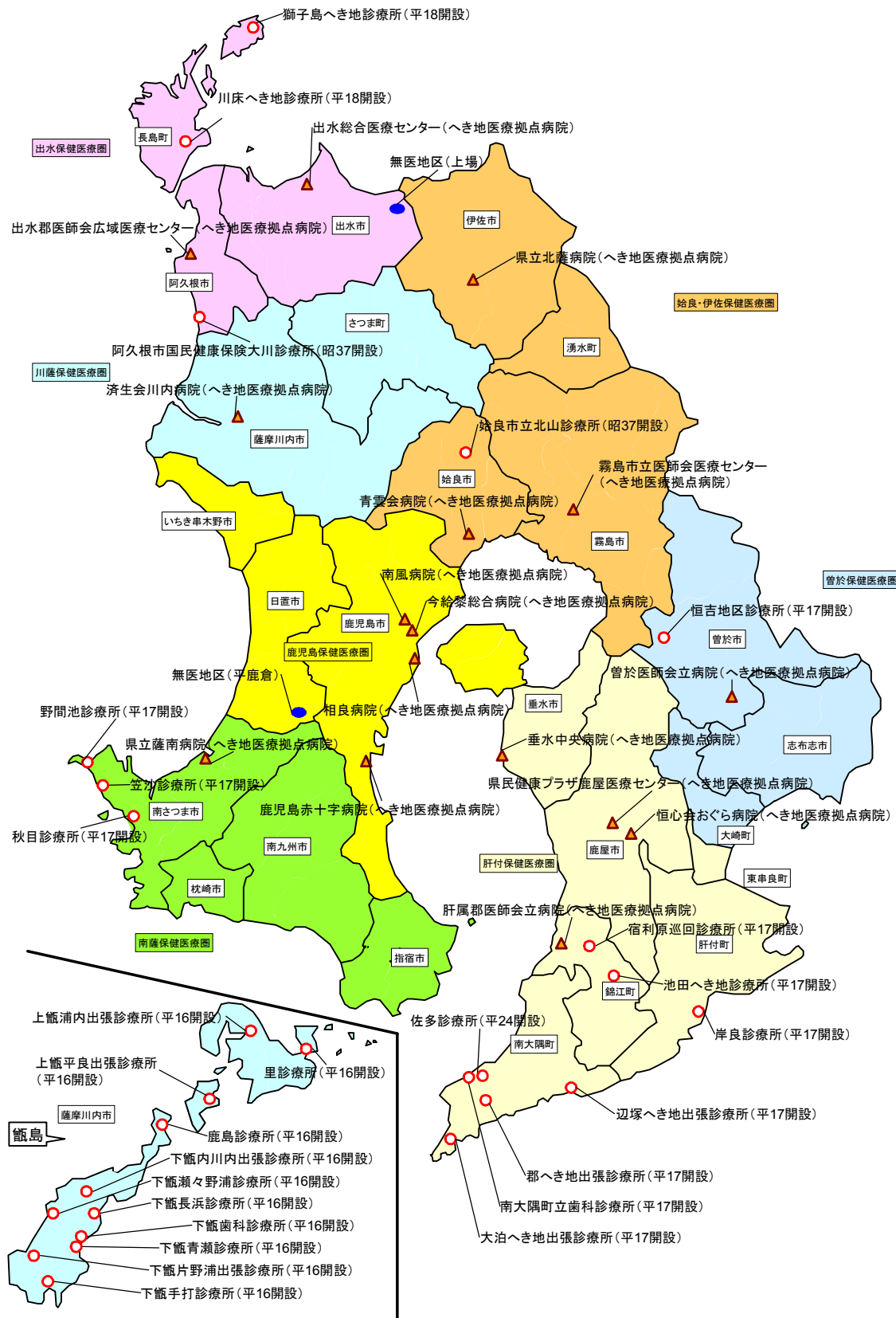
[県地域医療整備課調べ]

【図表5-4-21】 離島・へき地医療の連携体制 (例)

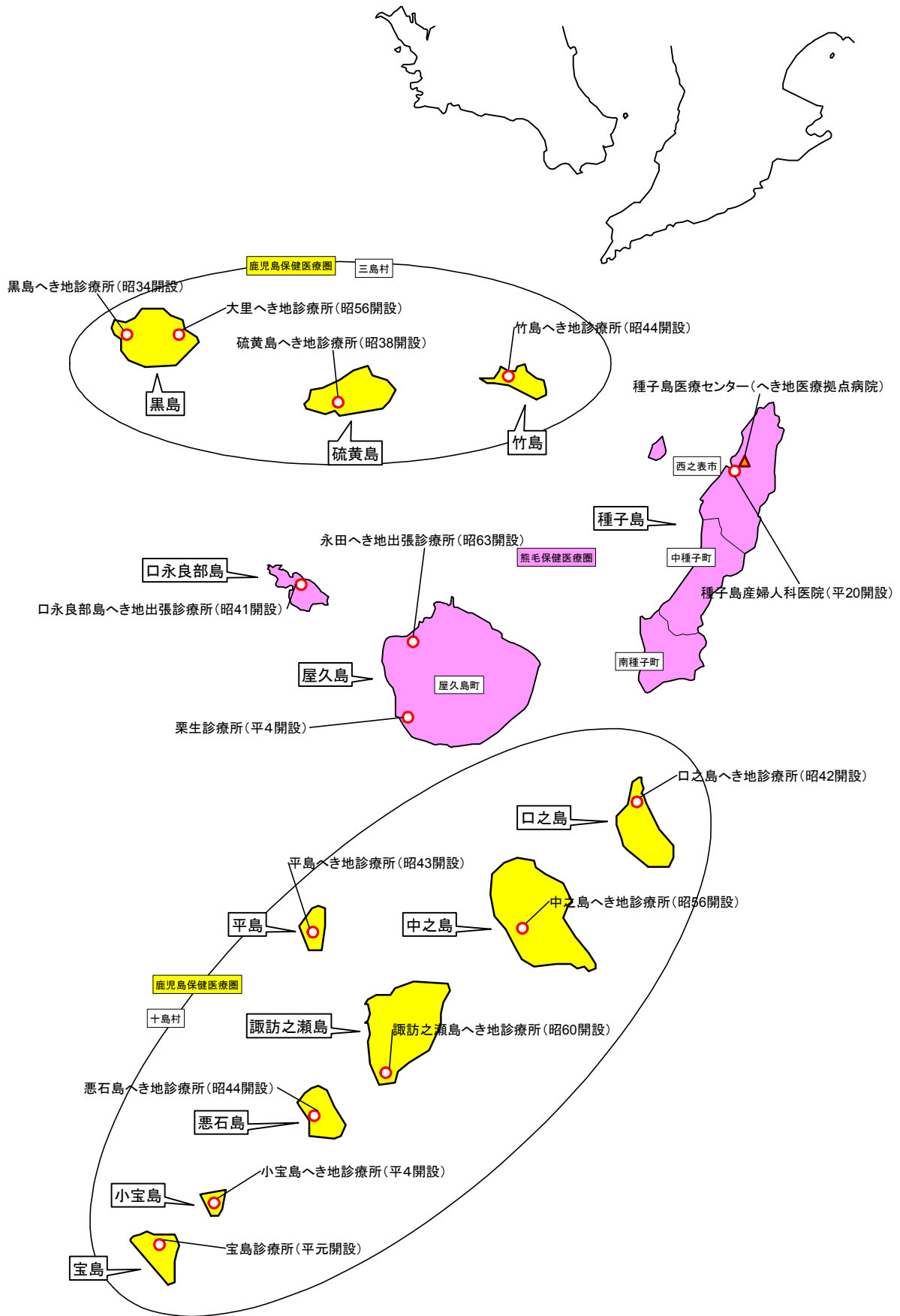
	保健指導等	離島・へき地における医療	離島・へき地診療の支援医療等
目標等	・無(歯科)医地区等における保健指導の提供	・無(歯科)医地区等における医療の確保 ・専門的な医療や高度な医療を提供する医療機関へ搬送する体制の整備	・診療支援機能の向上
医療機関等(例)	・へき地診療所 ・保健所 ・市町村保健行政機関	・へき地診療所及び過疎地域等特定診療所 ・特例措置許可病院 ・特定診療科巡回診療・離島歯科巡回診療	・へき地医療拠点病院 ・地域医療支援病院 ・へき地医療支援機構 ・地域医療振興協会
求められる機能等	・保健師等による保健指導の実施 ・地区の保健衛生状態の把握 ・保健所、最寄りへき地診療所等との緊密な連携に基づく地区の実情に応じた活動	・プライマリケアの診療が可能な医療 ・巡回診療等の実施 ・必要な医療機器等の整備 ・遠隔医療システム等を活用した医療連携による適切な医療の提供 ・へき地医療拠点病院等における研修への参加	・巡回診療等による医療の確保 ・へき地診療所への代診医等の派遣及び技術指導・援助 ・離島・へき地の医療従事者に対する研修の実施、研修施設の提供 ・遠隔診療等の実施 ・高度診療機能による、へき地医療拠点病院の診療活動の援助
連携等		・ヘリ等による救急搬送体制の充実 ・へき地医療拠点病院等との連携	

[県地域医療整備課調べ]

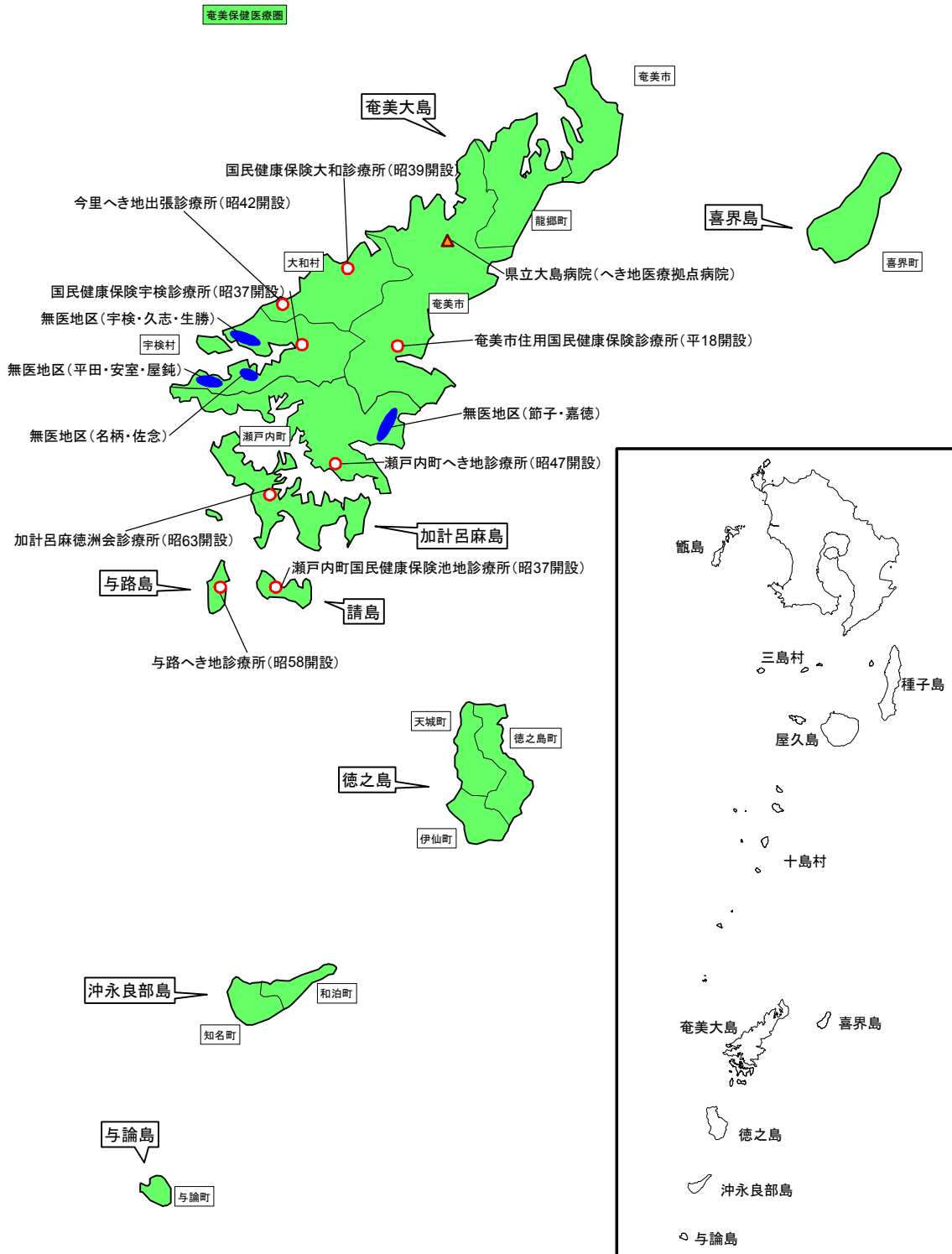
【図表5-4-22】 県内の無医地区，へき地医療関連機関の位置図（平成29年6月1日現在）



第5章 安全で質の高い医療の確保
第4節 事業別の医療連携体制



第5章 安全で質の高い医療の確保
第4節 事業別の医療連携体制



8 離島・へき地医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値（達成時期）
離島・へき地診療所への代診医派遣の対応率	87%（平成28年度）	90%（平成35年度）

〔目標設定の考え方〕

【離島・へき地診療所への代診医派遣の対応率】

代診医派遣日数が最も多かった平成20年及び平成21年における対応率を参考に90%を目指します。

9 周産期医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値（達成時期）
周産期死亡率(出産千人対)	4.1(平成27年)	3.3以下(平成35年度)
新生児死亡率(出生千人対)	1.1(平成27年)	0.8以下(平成35年度)

〔目標設定の考え方〕

【周産期死亡率（出産千人対）】

平成27年の本県の周産期死亡率は4.1で、全国の3.7より0.4ポイント高い状況ですが、平成24年～26年は全国値より低い水準であり、引き続き総合的な周産期医療対策の推進を図ることから、本県の過去の最低値である3.3以下を目指します。

【新生児死亡率（出生千人対）】

平成27年の本県の新生児死亡率は1.1で、全国の0.9より0.2ポイント高い状況です。引き続き総合的な周産期医療対策の推進を図ることから、前回計画と同様、本県の過去の最低値である0.8以下を目指します。

10 小児・小児救急医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値（達成時期）
乳児死亡率(出生千人対)	2.6(平成27年)	2.1以下(平成35年度)
小児死亡率 (15歳未満人口10万人対)	26.6(平成27年)	25.7以下(平成35年度)

〔目標設定の考え方〕

【乳児死亡率（出生千人対）】

平成27年の本県の乳児死亡率は2.6で、全国の1.9より0.7ポイント高い状況です。前回計画と同様、2.1以下を目指します。

【小児死亡率（15歳未満人口10万人対）】

平成27年の本県の小児死亡率は26.6で、全国の22.9より3.7ポイント高い状況ですが、前回計画策定以降の最低値となっています。過去6年間では0.9ポイント減少していることを考慮し、25.7以下を目指します。

離島・へき地医療

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：○ その他：△	鹿児島 医療圏	南薩 医療圏	川薩 医療圏	出水 医療圏	始良・伊佐 医療圏	曾於 医療圏	肝属 医療圏	熊毛 医療圏	奄美 医療圏	県計	全国計
S	へき地の数（無医地区）	○	1	0	0	1	0	0	0	0	4	6	637
S	へき地の数（準無医地区）	○	11	0	8	2	0	0	2	6	6	35	420
S	へき地診療所の数	○	11	3	10	3	1	1	7	4	8	48	1,099
S	へき地診療所の医師数（常勤）	○	0	2	4	0	0	0	3	3	8	20	655.8
S	へき地診療所の医師数（非常勤）	○	14	1	18	6	2	1	5	6	3	56	1,188
S	へき地診療所の病床数	○	0	0	33	0	0	0	0	17	23	73	1,469
S	へき地医療拠点病院の数	○	4	1	1	2	3	1	4	1	1	18	312
P	へき地医療拠点病院からへき地へ 医師を派遣した回数	○	349	473	0	48	235	71	431.5	188	516	2,311.5	13,620
P	へき地医療拠点病院からへき地へ 医師を派遣した延べ日数	○	557.5	473	0	24	235	35.5	359	188	516	2,388	12,700
P	へき地医療拠点病院からへき地へ 代診医を派遣した回数	○	4	4	1	0	0	0	1	0	0	10	3,821
P	へき地医療拠点病院からへき地へ 代診医を派遣した延べ日数	○	10	6	2	0	0	0	1	0	0	19	3,335
P	へき地医療拠点病院によるへき地 への巡回診療の実施回数	○	25	0	0	24	0	0	0	0	17	66	5,447
P	へき地医療拠点病院によるへき地 への巡回診療の実施延べ受診患者 数	○	777	0	0	72	0	0	0	0	467	1,316	27,915
P	へき地医療支援機構によるへき地 への医師（代診医含む）派遣の実 施回数	○	0	4	3	15	0	0	1	0	3	26	1,605
S	へき地医療支援機構における専任 担当官のへき地医療支援業務従事 日数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	96.9